



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第23号 2013.12.

『石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2013』開催しました。

博物館恒例！専門家集団が鑑定！11年連続開催の事業です。

11月16日に、『石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2013』を開催しました。

専門家が、岩石や鉱物化石を鑑定し、鑑定書を発行する内容で、今年で11年連続11回目の開催で、人気の高い事業です。

例年通り、一人で10個以上の大量の岩石を持ち込み、鑑定士と岩石に関する話で盛り上がっていた参加者が見られました。また、「他の方が持ってくる変わった石を見るのも楽しい」という参加者もみられ、岩石や化石・鉱物の好きな方たちのコミュニティの場としても活用されているようです。この鑑定会は、来年も引き続き開催する予定です。日程等が決定しましたら、広報やホームページ等でお知らせいたします。



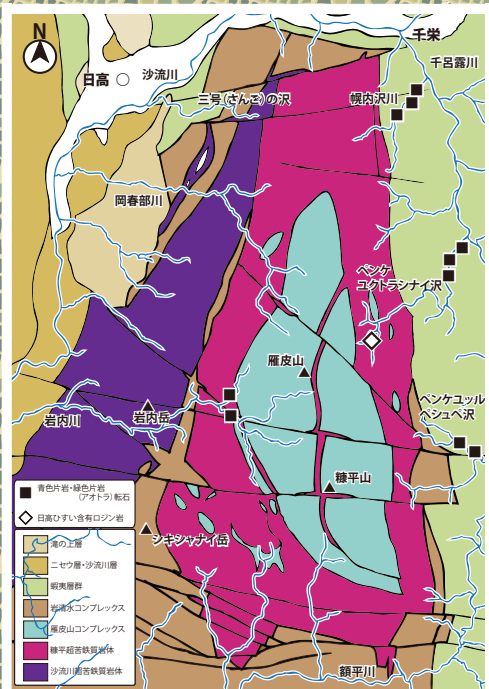
蛇紋岩 ～今年の干支の石～ 5

蛇紋岩は、恵みを与える反面、ちょっと迷惑になることもあります。岩石としては、やわらかく風化しやすいため、地すべりを起しやすい特徴もあります。また、トンネル工事のときなどは、掘った穴が変形しやすいなど、蛇紋岩は大変迷惑がられていることもあります。

ところで、日高では、どこに蛇紋岩があるのか、かなり詳しく調査されています。たとえば、右の図などがそうです。この図では、色の濃いところが蛇紋岩です。さんごの沢や岡春部川、ペンケユクトラシナイ沢などの上流に、大きく蛇紋岩が分布しています。なお、これらの川の上流には、クロム鉱山や、日高ヒスイの採掘場があったことは、皆さんご存知だと思います。日高近隣に目を向けると、占冠村や平取町の振内などにも蛇紋岩があり、大きな地滑りの地域も多く見受けられます。

日高を含むこれらの地域では、蛇紋岩がたくさんあります。迷惑がられる蛇紋岩ですが、蛇紋岩をよく知ることで、恵みも与えてくれる蛇紋岩が、もっと身近なものになればと思います。

さて、次号の日高山脈博物館だよりは翌年発行になり、干支が変わりますので、このコラムは終了とします。



日高地区の地質図の一例（東・加藤，2012を改変）